

豊橋技術科学大学研究データ管理・公開ポリシー

(令和6(2024)年9月11日制定)

豊橋技術科学大学（以下「本学」という。）は、「技術を支える科学の探究によって新たな技術を開発する学問、技術科学の教育・研究」を使命とし、「実践的、創造的かつ指導的技術者・研究者を育成するとともに、次代を切り拓く技術科学の研究」を行うことを理念として掲げている。

研究データは新たな研究の源泉であり、これを適切に管理し、公開等により利活用を図ることは、当該研究及び研究データ、並びに社会における本学の価値を高めることにつながる。また、研究データの適切な管理は研究の公正性を担保する上で重要である。

このことを踏まえ、機関として、研究データの管理と公開についての方針を示すことは学術研究機関としての責務であると考え、この認識のもと、本学における研究データの管理、公開及び利活用に関するポリシーを以下のように定める。

(研究データの定義)

- 1 本ポリシーにおける「研究データ」とは、本学における研究活動の過程において収集又は生成された情報を指し、デジタル・非デジタルを問わない。

(研究者の責務)

- 2 本学は、原則として、研究データを収集又は生成した研究者がその研究データの管理を行う権利と責務を有していることを認める。

(研究データの管理・公開)

- 3 研究者は、それぞれの研究分野の特性を踏まえ、関係諸法令及び本学諸規則等、並びに、倫理的要件等を遵守し、研究データを適切に管理・保存し、可能な範囲で公開し利活用に供する。ただし、第三者の権利及び法的利益を害する場合はこの限りではない。

(大学の責務)

- 4 本学は、研究データの保存・管理、公開及び利活用を支援する環境を整える。

(ポリシーの見直し)

- 5 本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じて適宜見直しを行うものとする。